

山形・北村山便り 平成25年7月16日

6月の気象は気温が高く、小雨多照でした。(平年対比 +1.5℃、△40%、+100%)
7月上旬は高温、多雨、日照減で推移しています。

さくらんぼは収穫量が少ない地域がある一方、価格は高目で、例年のことながら、地域・農家で明暗の差が大きかったようです。晩生品種の収穫に追い込みがかかっています。

7月後半に入ると「すいか」の季節です。国道13号を中心に直売店が開き始めました。山形県のすいか生産は栽培面積・産出額ともに全国第3位です。

特に、北村山の尾花沢・大石田は夏すいかの大産地です。7月下旬から8月のシェアは全国の40~50%にも上ります。

夏の天候で生産品質と消費が大きく変化する品目のため、天候が注目されます。生産者は急激に成長する蔓と果実の管理に大忙しです。

(ほどほどに暑く。他の作目、家畜、人のこともありますので)

(夏はすいかとアイス**のみ**の時代から、清涼飲料等の増加と核家族化で消費が減少する一方、農家の高齢化で面積と戸数は減少しています。——スイカは重い、大きい。——
一戸当たり面積の増加と省力化に取り組んでいるのですが。)

須田





さくらんぼ品評会 佐藤錦「パック詰め部」



「バラ詰めの部分」



これから、倍以上に大きくなります。

